

今町俵おどり伝承事業



取組地区：五十市地区
取組年度：令和元年度
事業主体：今町俵おどり保存会
事業費：215,949 円（基金活用額：215,949 円）
問い合わせ：23-2184

課題・取組みの概要

○今町小学校の児童が継承してきた俵おどりを、大人を含めた校区内住民全体で継承していくため、会員募集と組織強化に努めるとともに、必要な道具（太鼓等）を整備する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 募集の結果、踊り手は少なかったが、楽屋（太鼓、三味線）のメンバーを確保できた。
- 会員募集について協力を得るため、今町地区の館長による協議を2回行ったものの、会員確保には至っていない。
- 当初は法被の作成を予定していたが、会員数が少ないため、計画を変更した。

今後の課題・アドバイス等

- 初年度に続き、2年目も事業継続を目指したが、コロナ禍により中止した。
- 伝承芸能の後継者の確保、育成については引き続き課題となっている。
- 備品管理・備品更新等の方針を決定する必要がある。
- 指導者の確保も必要である。

「安久節」モニュメント設置事業



取組地区：中郷地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：中郷地区まちづくり協議会

事業費：3,552,600 円（基金活用額：3,000,000 円）

問い合わせ：39-0713

課題・取組みの概要

- 伝統文化の継承を目的としている。
- 「安久節」の由来を記したモニュメントの製作・設置を行った。
- 旧都城市と中郷村の合併 50 周年の記念事業の計画である。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 市内外の方々に見ていただけるよう地区市民センター入口に設置した。
- 安久節とゆかりのある「原良おはら節保存会」（鹿児島市）との交流会を定期的実施した。

今後の課題・アドバイス等

- 安久節を含めた郷土芸能や伝統行事等の継承を行う手法・手段の確立が課題である。
- 毎年度、都城市と「市有財産（土地）使用貸借契約書」の締結を行う必要がある。

山之口弥五郎どん祭り保存伝承事業



取組地区：山之口地区
 取組年度：平成 30 年度
 事業主体：山之口弥五郎どん祭り保存会
 事業費：433,080 円（基金活用額：432,000 円）
 問合わせ：57-3114

課題・取組みの概要

- 山之口弥五郎どん祭りは、先人から大切に保存、継承された貴重な伝統文化である。弥五郎どんの里に誇りを持ち、文化の香りのあるまちづくりを創造しながら祭りを後世に伝えるため、人材育成が必要となっている。
- 弥五郎どん祭りを周知・案内するのぼり旗が老朽化している。
- 伝統文化への理解を得る。
- 児童らが、「総合的学習・校外学習」で弥五郎どんの館に来館し、伝統文化の学びを深め得るため、解説ビデオを製作した。また、インターネットの動画サイトでも公開を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 子どもから大人までどの世代にも分かりやすく、短時間で簡潔なビデオを製作した。
- 周知・案内のためののぼり旗の作製を行った。

今後の課題・アドバイス等

- のぼり旗は、経年劣化してくる再度の作製が必要になるため財源確保が課題である。
- 保存、継承していくことの重要性を、広く理解してもらう。

郷土芸能デジタル化事業



取組地区：山之口地区
 取組年度：平成 30 年度
 事業主体：山之口地区まちづくり協議会
 事業費：469,005 円（基金活用額：468,600 円）
 問合わせ：57-3114

課題・取組みの概要

- 山之口地区には郷土芸能が多く残されているが少子高齢化・社会情勢の変化などにより存続が難しく、やむなく途絶えたり、休止状態のものがある。貴重な財産である郷土芸能を保存、伝承していく必要がある。
- モーションキャプチャーの技術で、郷土芸能をデジタル化し、山之口地区まちづくり協議会のホームページで情報、魅力を発信するとともに保存、伝承用としても活用を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- モーションキャプチャー方式による 3DCG 化を行い、地区の貴重な財産である郷土芸能を保存、伝承していくことに活用している。
- 山之口地区まちづくり協議会のホームページで広く情報を発信している。

今後の課題・アドバイス等

- 山之口地区まちづくり協議会のホームページを住民に広く PR することが必要である。
- また、保存、伝承していくことの重要性を理解してもらうための継続した取り組みが必要となる。

麓文弥節人形浄瑠璃 PR 事業



取組地区：山之口地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：麓文弥節人形浄瑠璃保存会

事業費：634,500 円（基金活用額：634,000 円）

問合わせ：57-3114

課題・取組みの概要

- 山之口麓文弥節人形浄瑠璃は現存する記録が少ないので、デジタル映像に記録、保存、収蔵し後世への継承活動及び後継者育成に資す。
- 伝統文化への理解を得る。
- 人形浄瑠璃講演を周知・案内するのぼり旗が老朽化している。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山之口麓文弥節人形浄瑠璃紹介 DVD を作成し記録して伝承を行っており、紹介することにより伝統民俗文化への理解を深めている。
- 周知・案内のためのぼり旗の作製を行った。

今後の課題・アドバイス等

- のぼり旗は経年劣化するので、再度作製が必要となる。
- 「保存」「継承」していく事の重要性を広く理解していただく。

民俗文化財デジタル化事業



取組地区：山之口地区

取組年度：令和元年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：762,480 円（基金活用額：762,000 円）

問い合わせ：57-3114

課題・取組みの概要

- 山之口町には国の重要無形民俗文化財の麓文弥節人形浄瑠璃、国選定の山之口弥五郎どん祭りが保存啓発活動を行っている。地域の伝統文化を守り継承する心を育て伝統文化を保存継承する必要がある。
- 弥五郎面のデジタル化、人形浄瑠璃はアニメーション化を行い三次元で可視化により民俗文化財を分かりやすく表現する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 人形浄瑠璃、弥五郎どんをデジタル化。浄瑠璃人形はアニメーション化を行い、三次元で分かりやすく表現し制作を行った。また、文化伝承につなげていくため弥五郎どんの面の型を制作した。
- デジタル化した民俗文化財は、山之口地区まちづくり協議会のホームページで広く情報を発信している。

今後の課題・アドバイス等

- 山之口地区まちづくり協議会のホームページを、住民に広く PR することが重要である。

花木あげ馬保存伝承事業



取組地区：山之口地区

取組年度：令和元年度

事業主体：花木地区郷土芸能あげ馬保存会

事業費：393,120 円（基金活用額：393,300 円）

問合わせ：57-3114

課題・取組みの概要

- 花木地区郷土芸能あげ馬は現存する記録が少ないので、デジタル映像に記録、保存、收藏し後世への継承活動及び後継者育成が必要である。
- 伝統文化への理解を得る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 花木地区郷土芸能あげ馬記録 DVD&BD を作成し紹介することにより、伝統民俗文化の理解を深めている。

今後の課題・アドバイス等

- 4 年毎の開催なので、指導者も高齢化が進んでいる。
- 保存、継承していく事の重要性を理解していただく。

民俗工芸品開発事業



取組地区：山之口地区

取組年度：令和2年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：453,200円（基金活用額：453,000円）

問合わせ：57-3114

課題・取組みの概要

○山之口麓文弥節人形浄瑠璃、山之口弥五郎どん民俗文化財を工芸品として開発を行う。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○人形浄瑠璃、弥五郎どんの三次元データを加工して民俗工芸品の試作・開発を行った。

○作成したデータは山之口地区まちづくり協議会のホームページで情報発信を行っている。

今後の課題・アドバイス等

○山之口地区まちづくり協議会のホームページを住民に広くPRすることが必要である。

民俗文化財 PR ビデオ制作事業





取組地区：山之口地区
 取組年度：令和2年度
 事業主体：山之口地区まちづくり協議会
 事業費：418,000 円（基金活用額：369,878 円）
 問合わせ：57-3114

課題・取組みの概要

- 住民の民俗文化財への認識を高めるため、プロモーションビデオを制作して、民俗文化財の奥深い魅力を発信する。
- 伝統文化を大切に保存伝承するとともに都城市の PR につなげる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 人形のキャラクター化を実現し、インパクト効果の高いプロモーションビデオを制作できた。
- プロモーションビデオはホームページ、人形浄瑠璃資料館等で幅広く PR 活動を行っている。

今後の課題・アドバイス等

- 山之口地区まちづくり協議会のホームページを住民に広く PR することが必要である。
- プロモーションビデオを有効に活用し PR を行うことが必要である。

郷土芸能・史跡デジタル化事業



取組地区：山之口地区

取組年度：令和2年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：858,000 円（基金活用額：774,400 円）

問い合わせ：57-3114

課題・取組みの概要

- 長い歴史と豊かな自然の中で培われた貴重な郷土芸能が多くあるが、高齢化、生活様式の急激な変化で存続が難しく途絶えたものがある。
- 江戸時代に築城された松尾城は貴重な史跡であるが住民の認識が低い。
- 最新の ICT 技術により映像化を行う。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 郷土芸能を最新の ICT 技術であるモーションキャプチャシステムにより、六十田剣舞、三番叟の民俗芸能を 3DCG と映像を組み合わせデジタル化を行った。
- 松尾城を 3DCG 化により可視化を図り、松尾城のデジタル化による再現を図った。
- 松尾城の再現画像はあじさい公園の展望台にパネル展示を行う。
- 山之口地区まちづくり協議会のホームページに掲載した。

今後の課題・アドバイス等

- 山之口地区まちづくり協議会のホームページを住民に広く PR することが必要である。

下富吉郷土芸能保存伝承事業



取組地区：山之口地区

取組年度：令和2年度

事業主体：下富吉郷土芸能保存会

事業費：297,000円（基金活用額：297,000円）

問い合わせ：57-3114

課題・取組みの概要

- 下富吉郷土芸能保存会は、「そば切り踊り」、「奴踊り」の郷土芸能を保存伝承している。しかしながら、保存会員の高齢化が進んでおり後継者育成と会員を増やし活動の充実、継承が必要である。
- 今後、保存会の活動の充実を図りながら三味線一式を購入し演奏者の後継者育成を行う。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 三味線等の購入を行ったことで、練習が可能になった。

今後の課題・アドバイス等

- 三味線の演奏者の後継者育成、保存会員を増やすことが急務である。

高崎民俗芸能保存活性化事業



取組地区：高崎地区
取組年度：令和元年度
事業主体：高崎町民俗芸能保存交流会
事業費：411,696 円（基金活用額：411,696 円）
問い合わせ：62-1111

課題・取組みの概要

- 高崎地区では、「俵踊り」や「棒踊り」などの多くの拍子や踊りが民俗芸能として伝わっている。
- 10 保存会が様々な祭り等で活動を行っているが、後継者不足が課題となっており、存続が危機に瀕している。
- このため、新たな後継者を養成し、永続的な活動を促すため、必要な道具を整備するに至った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 道具整備により、活動が続いている人（会員）には意欲が湧き、今後の活動に拍車がかかる。
- また、整備後に保存会に加入した人も、これから活動していくという士気が高まっている。

今後の課題・アドバイス等

- 芸術文化の永続的な継承を目的に、様々なイベントで活動を披露し、多くの人に新たな魅力を発見してもらう。
- 継続した会員確保の取り組みが必要である。
- 会員の確保と同時に、指導者の養成が必要である。